

あ さ か そ す い に き

平成22年4月21日に、福島県、郡山市、須賀川市、本宮市、大玉村、猪苗代町、安積疏水土地改良区及び国からなる「安積疏水地区かんがい排水事業推進連絡会」において、事業計画（案）の了解を得ている。

評価担当部局
農村振興局水資源課

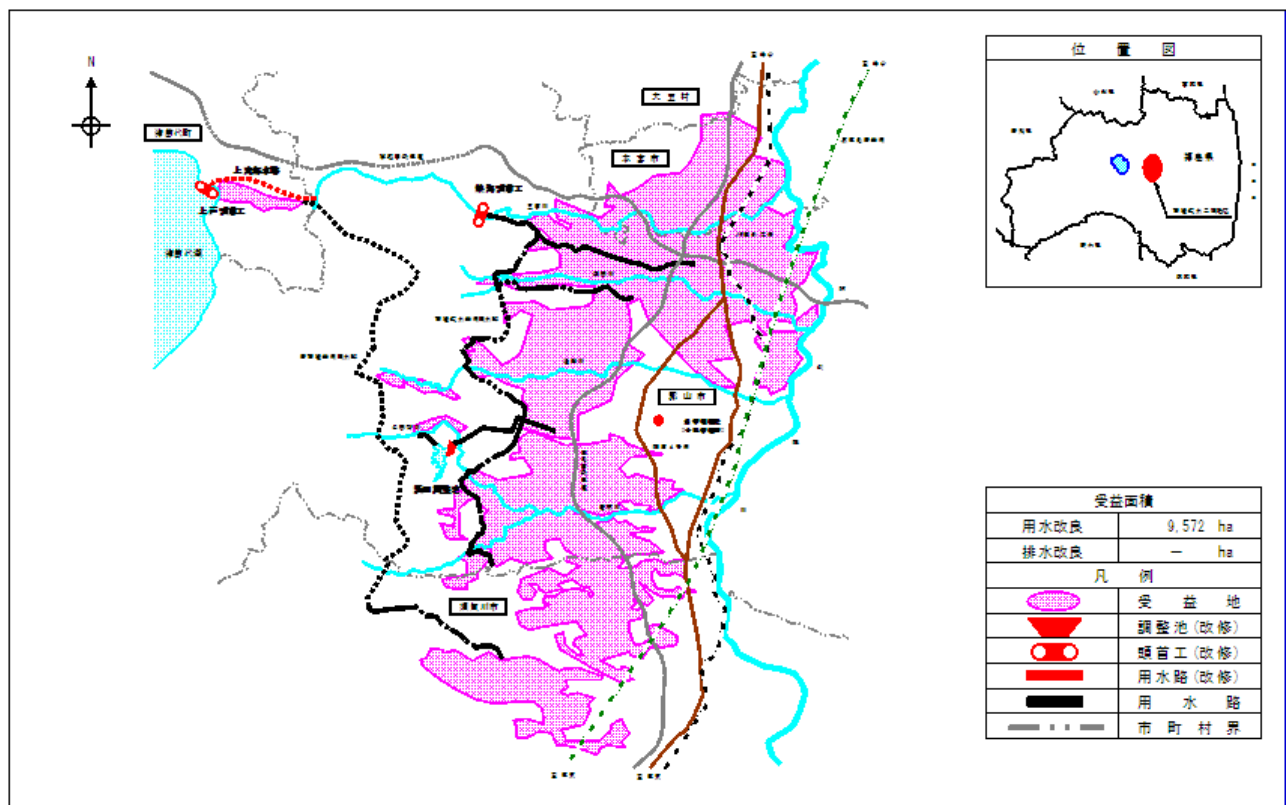
その他

- 事業推進体制 平成20年10月10日に安積疏水地区かんがい排水事業推進連絡会を設立し、事業を推進（構成：東北農政局阿武隈土地改良調査管理事務所、福島県、郡山市、須賀川市、本宮市、猪苗代町、大玉村、安積疏水土地改良区）
- 維持管理体制 既存施設の改修であるため、安積疏水土地改良区（昭和27年7月18日）において、引き続き管理

概要図

1．受益面積	9,572ha		
2．受益者数	8,836人		
3．主要工事計画	工 種	数 量	事 業 費
	調 整 池（改修）	1 箇 所	650百万円
	頭 首 工（改修）	2 箇 所	366百万円
	用 水 路（改修）	4.4km	660百万円
	水管理施設（改修）	一 式	524百万円
4．国営総事業費	2,200百万円		

安積疏水二期地区 概要図



平成23年度新規地区採択チェックリスト（国営かんがい排水事業）

（局名：東北農政局）（地区名：^{あさかそすい に き}安積疏水二期）

1．必須事項

項 目	評 価 の 内 容	判定
1．事業の必要性が明確であること。（必要性）	・ 農業生産性の向上、農業総生産の維持・増大、農業生産の選択的拡大、農業構造の改善等の観点から、当該事業を必要とすること。	☐
2．技術的可能性が確実であること。	・ 地形、地質、水利状況等からみて、当該事業の施行が技術的に可能であること。	☐
3．事業の効率性が十分見込まれること。（効率性）	・ 当該事業のすべての効用がそのすべての費用を償うこと。	☐
4．農家負担の可能性が十分であること。（公平性）	・ 当該事業の費用に係る受益農家の負担が、農業経営の状況からみて、負担能力の限度を超えることとはならないこと。	☐
5．環境との調和に配慮していること。	・ 当該事業が環境との調和に配慮したものであること。	☐
6．事業の採択要件を満たしていること。	・ 事業実施要綱・要領に規定された事業内容、採択基準の要件に適合していること。	☐

項目を満たしている場合は「○」とする。

項目欄の（ ）には、主として考えられる観点を記述している。

平成23年度新規地区採択チェックリスト（国営かんがい排水事業）

あさかそすい に き
（局名：東北農政局）（地区名：安積疏水二期）

2．優先配慮事項

【効率性・有効性】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
効率性	事業の経済性・効率性		事業費の経済性・効率性の確保 コスト縮減についての具体的配慮	-	○ ○	A
有効性	食料の安定供給の確保	農業生産性の維持・向上	土地生産性及び労働生産性の維持・向上 効果額（受益面積あたり）	千円/ha・年	507	B
			農業産出額（事業地区市町村の面積当たり）	千円/ha・年	1,410	B
		野菜・果樹の産地形成	野菜指定産地・果樹濃密生産団地の指定作物の計画作付面積割合（受益面積当たり）	%	4.0	B
	農業の持続的発展	望ましい農業構造の確立	認定農業者の割合（総農家当たり）	%	5.8	B
			経営耕地面積（一戸当たり）	ha/戸	1.42	A
		農地の確保・有効利用	耕地利用率、作付面積増加率	%	85.9	B
		農業生産基盤の保全管理	施設の更新整備の緊急性	-	A	A
			戦略的な保全管理に向けた整備計画の作成	-	A	A
	農村の振興	地域経済への波及効果	他産業への経済波及効果額（受益面積当たり）	千円/ha・年	-	-
		地域用水機能の維持・増進、水資源の有効活用(快適性の向上)	地域用水効果額（受益面積当たり）	千円/ha・年	-	-
	多面的機能の発揮	環境機能の維持・増進	環境関連効果額（受益面積当たり）	千円/ha・年	-	-

【事業の実施環境等】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
事業の実施環境等	環境への配慮	生態系	地域や事業の特性を考慮した調査・検討 環境情報協議会の意見を踏まえた生態系配慮 地域住民の参加や地域住民との合意形成への取組み 維持管理、費用負担及びモニタリング体制等の調整状況	-	a a - -	A
		景観	地域や事業の特性を考慮した調査・検討 環境情報協議会の意見を踏まえた景観配慮 地域住民の参加や地域住民との合意形成への取組み 維持管理、費用負担及びモニタリング体制等の調整状況	-	a a - -	A
	関係計画との連携		関係都道府県や市町村の農業振興計画と本事業との整合性	-	a	A
	関係機関との協議		河川管理者との協議(予備)の状況 漁協との協議(予備)の状況 その他着工前に重要な協議(予備)の状況	-	a - a	A
	関連事業との調整		事業主体から概略構想(関連事業調書)の提出 共同事業(事業内容、事業費、アロケ等)の事前了解	-	- a	A
	地元合意		事業実施に対する受益農家の同意状況 事業実施に対する関係市町村の同意状況	-	a a	A
	事業推進体制		事業推進協議会の設立 事業推進協議会から着工要望の提出	-	a a a	A
	維持管理体制		予定管理者の合意 維持管理方法と費用負担に関する予定管理者との合意	-	a a	A
	営農支援体制		営農推進組織等(営農支援体制)の設立状況	-	A	A

平成23年度新規地区採択チェックリスト（国営かんがい排水事業）

（局名：東北農政局）（地区名：安積^{あさかそすい}疏水二期）

3．特定監視項目（国営かんがい排水事業）

項 目	評 価 の 内 容	判定
1．地質状況	・地質状況に基づいた施設計画としている。	☐
2．受益面積	・最近年の面積を把握している。	☐

項目を満たしている場合は「○」とする。